

 enokojima creates osaka enoco 大阪府立 江之子島文化芸術創造センター	enocoについて ABOUT ▼	フロアガイド FLOOR GUIDE ▼	enocoのつかいかた HOW TO USE ▼	空き状況 AVAILABILITY ▼	アクセス ACCESS ▼	プラットフォーム 形成支援事業 PLATFORM >
	クリエイティブルーム 入居者募集 CREATIVE ROOM ▼	サポーター募集 SUPPORTER ▼	メールニュース登録 MAIL NEWS ▼	Q & A Q&A ▼	お問い合わせ INQUIRY ▼	大阪府20世紀 美術コレクション COLLECTION >

展示 2.15~3.2

大阪現代芸術創造事業

Breaker Project 「ex・pots 2011-2013」 展覧会

[トップ](#) >> [イベント](#) >> 大阪現代芸術創造事業 Breaker Project 「ex・pots 2011-2013」 展覧会

このページの情報は、終了した事業に関するものです。

地域密着型のアートプロジェクトとして2003年より活動しているブレーカープロジェクト。2011年より4名のアーティストと共に西成区山王周辺のエリアにて地域住民と関わりながら長期的に取り組んできたプロジェクトの集大成として、enocoでは、呉夏枝、山田巨の2名のアーティストによる展覧会を開催します。

言葉にできない「沈黙の記憶」を想像し、未来へとつないでいく装置として作品をつくる呉夏枝と、記憶を語り／聞く行為自体を創造的な行為と捉え、そこから生まれる物語を新聞として記録する山田巨。それぞれのアプローチは異なりますが、大文字の歴史では取り上げられないことのない、日常のなかの「個人の記憶」に焦点をあてた活動／作品を発表します。

会期： 2014年2月15日（土）～3月2日（日）11:00-19:00

※月曜休館・最終日は17:00まで

場所：江之子島文化芸術創造センター [enoco] 1Fルーム4

料金：一般 300円／高校生以下 無料

主催・お問い合わせ先：ブレーカープロジェクト実行委員会

E-mail / info@breakerproject.net HP / <http://breakerproject.net/>

共催：大阪府立江之子島文化芸術創造センター [enoco]

助成：財団法人地域創造 公益財団法人福武財団 一般財団法人おおさか創造千鳥財団

ディレクター：雨森信

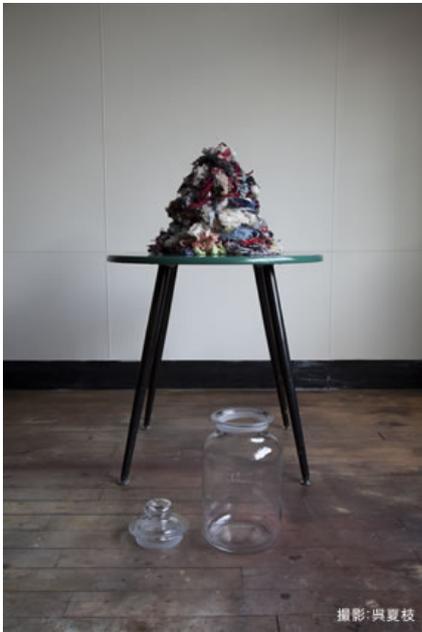
プログラムディレクター：内山幸子, 小島剛, 柳本牧紀

事務局：松尾真由子

呉夏枝 「光のけはい、ゆらめく影」

「語られなかった記憶」「言葉にできない記憶」について探求し、織る／ほぐす／結ぶという手法で作品制作を行ってきた呉は、今回、西成区山王地域において、2年半かけて制作に取り組んできた作品を発表します。本作品は、家庭のタンスに眠る編み物と、編み物にまつわる地域の女性たちのストーリーを集めるリサーチとしてのワークショップ「編み物をほぐく／ほぐす」からスタートし、100着におよぶ編み物を地域の方と協働作業でほぐくというプロセスを経て、インスタレーション作品へと結実します。

本展覧会では、江之子島文化芸術創造センター [enoco] と同時に、本作品のリサーチと制作の拠点となったkioku 手芸館「たんす」においても、呉の作品展示と活動の紹介を行いますので、両会場で合わせてご覧ください。



撮影:呉夏枝

山田亘「西成なるへそ新聞」



撮影:山田亘

山田亘によるプロジェクト「西成なるへそ新聞」は、2013年3月よりスタートし、一般公募により集まった有志による編集メンバーとともに、取材・制作・発行を行う編集ワークショップを3週間毎に実施し、約10ヶ月かけて全25号を発行してきました。

本展では、新聞全号の展示のほか、今回のプロジェクトに関連する資料や山田が西成区山王周辺エリアで撮りためた空き地の写真などを展示します。

『新聞は街だ』と山田が言うように、様々な時代が混在する紙面上の記事は、まちの区画や家のように扱われ、新しい記事を入れる際には、古い記事を取り壊し（切り取って）一旦「空き地」にしてから、新たな誌面がつくられるという点が「西成なるへそ新聞」の特徴です。各号では、個人の記憶にもとづいて語られたエピソードが記事となるほか、住民による連載コーナーもあり。発行された新聞はまちなかに毎回設置され、山王周辺のエリアにて愛読され浸透しています。これまで語られることのなかった個人の記憶から新たな地域像を再発見する機会となれば幸いです。

アーティストプロフィール

呉夏枝 Haji OH

美術家。大阪府在住。京都市立芸術大学美術研究科博士号取得。主に染織、刺繍、編む、結ぶなどの技法をつかって作品を制作。音声、写真を使ったインスタレーション作品なども展開している。近年の主な展覧会に、2013年「針々(しんしん)と、たんたん」と国際芸術センター青森(青森)、2012年「VOCA展2012」上野の森美術館(東京)、2011年「Inner Voices-内なる声-」金沢21世紀美術館(石川)、2010年「やっぱり本が好き!国際ブック・アート・ピクニック」中之島図書館(大阪)他。

→<http://hajioh.com/>

山田亘 - Ko YAMADA

写真家/美術家。愛知県在住。1993年州立オハイオ大学大学院芸術学修士MFA(写真)。日本紙媒体学会常任理事。写真を中心に媒体を意識した作品を展開、特に新聞等の紙媒体の構造をベースにしたプロジェクト作品に力を注いでいる。近年の主な展覧会に「ファン・デ・ナゴヤ美術展2013のこりもの」(愛知)、2011年「Berliner Naruheso Weltzeitung(ベルリンなるへそ世界新聞)」DMY国際デザインフェスティバル(ドイツ)、1998年「MEDIALOGUE」東京都写真美術館他、国内外での展覧会多数。

<http://www.umbilicalsites.com/>

また、enocoでの展覧会のほか、大友良英「西成・子どもオーケストラ」コンサートや西成山王周辺のまちなか会場では、呉夏枝によるkioku手芸館「たんす」での展示や梅田哲也によるまちを舞台に空家など3カ所のメイン会場を巡る体験型の展覧会も開催されます。詳細はBreaker Projectのホームページをご

確認ください。

<http://breakerproject.net/>

サイトポリシー	> enocoについて	> クリエイティブルーム	> enocoのプロジェクト	Like 943 ツイート	^
指定管理者	> フロアガイド	> サポーター募集	> enocoの学校		
バナー広告募集	> enocoのつかい方	> メールニュース登録	> 大阪府20世紀コレクション		
プレスリリース	> 空き状況	> Q&A	> ライブラリー		
	> アクセス	> お問い合わせ	> サポーターものづくりルーム		
		> プラットフォーム 形成支援事業			